

連合・教育改革12の提言

日本の教育が直面している問題点

1

家庭教育と子育て・子育ち

- (1) 母親任せの子育てと家庭の教育機能の低下
- (2) 子どもの体験不足と社会性の欠如

2

小・中・高校での学校教育

- (1) 学ぶ意欲や主体性が欠如した子どもの増加
- (2) 学級崩壊、校内暴力、不登校等の増加
- (3) 閉鎖的な学校対応と教師の負担増
- (4) 政府の教育投資の低下と学校施設の老朽化の進展

3

高等教育と職業教育

- (1) 二極分化と学生の学力低下が進む高等教育機関
- (2) 高等教育機関での重い学費負担
- (3) 教育訓練機会の不平等の拡大
- (4) 職業能力開発が遅滞するフリーターの増加

4

地域の教育と生涯学習

- (1) 過度の年齢主義による入学・就職システムの弊害
- (2) 遅れている地域の体制づくり
- (3) 十分機能していない教育委員会

連合・教育改革12の提言

1

家庭教育の充実と地域で支え合う子育て・子育ち

- 提言1: 家庭の役割を再認識し、「家庭と仕事の調和」を実現する
- 提言2: 地域から子育て・子育ち支援システムを確立する

2

地域が支える「開かれた学校」づくり

- 提言3: 子どもと教師が向き合える環境づくりを進める
- 提言4: 子どもの「生きる力」と社会性を育む
- 提言5: 地域と教職員で「開かれた学校」づくりを進める
- 提言6: 教職員のやりがい・働きがいを高める

3

社会を支え担う職業人づくり

- 提言7: 勤労観・職業観を育む
- 提言8: 学び直しのできる学校教育・職業教育に改革する
- 提言9: 継続的な職業教育と教育の機会均等を確保する

4

豊かな人生と人間関係が織りなす涉外学習社会

- 提言10: ゆとり・豊かさ、生活の質を重視した生涯学習を推進する
- 提言11: 地域住民が集う、文化・スポーツの拠点を創る
- 提言12: 教育委員会を改革し、特色ある地方教育行政づくりを進める